



2018
No.332

11

月号

News

全国整備工場の皆様へ
NGP 組合員 200 拠点がお届けする
お役立ち情報

2018年11月19日発行
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス
■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価/1部30円

第14回通常総会開催

厳しい業界状況において組合員同士が団結し、 新たな時代を切り拓く

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は10月22日、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル（千葉県浦安市）において、第14回通常総会を開催しました。

冒頭、挨拶に立った佐藤幸雄理事長は、組合員へ向けて日頃の組合活動への協力に感謝を述べるとともに、「自動車業界は、100年に一度という大変革期に入りました。我々自動車リサイクル業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています」と、業界環境に対する見方を示しました。

さらに近年の具体的な業界動向に関して、「2017年度の国内新車販売台数は前年比2.3%増で、軽自動車の伸び率は同比8.1%増となりました。今後、我々のもとに入ってくる使用済み車両においても、軽自動車の占める割合が高くなると予想されます。また日本自動車整備振興会連合会によると、2017年度の整備売上高は前年比1.7%増となりましたが、事故整備においては1.6%減となりました」と、説明を加えています。

そのような動向を受けたリサイクル部品業界の現状について、「2015年度をピークに部品受注件数、販売金額が落ちています。今後、先進予防安全技術の浸透によってさらに事故整備が減少することで、リサイクル部品販売にも大きな影響を与えると予想されます。また、自動車リサイクル促進センターが集計した2017年度の使用済み自動車引き取り台数は前年度比6.7%増となりましたが、平均使用年数の長期化に

より部品取りが難しい車両が増加傾向にあります」と分析しました。

また近年頻発している自然災害に触れ、「平成30年7月豪雨では提携先損害保険会社と企業からの引き取り依頼に対応すべく、現地対策本部を岡山市、広島市、福山市の3カ所に構えました。対策本部長の小林副理事長をはじめ、中四国支部、東海支部、関西支部、九州支部の組合員と各社社員、本部スタッフが集い、計36社・80人を超える皆さんに活動していただき、改めてNGPの結束力、仲間同士の絆を強く感じることができました」と述べ、今後もNGP一丸となって、社会貢献に臨む姿勢を強調しました。

そして最後に、「この厳しい事業環境を乗り越えていくためには、施策の実行及びスピード感を持った対応が必要となります。足踏みしていると取り残されてしまいます。NGPグループをどのような姿にしていくのか将来を見つめ、強く、より強く、前へ進む必要があると考えています。第15期の事業計画の成功が、NGPの成長につながることを期待しています」と話し、変革

期を迎える環境下において、新たな施策に取り組んでいく必要性を示しました。

その後、各種議案を審議し、いずれも可決承認しています。また総会後には、生産部品の品質が特に優れている組合員などに対する表彰式を執り行いました。

NGPは、目まぐるしく変化していく事業環境の中、創立者である大石一彦氏が掲げた三大信条「お客様第一」の理念に基づき、より強固なグループに発展させるために、全組合員が一致団結し新たな時代を切り拓いていきます。



挨拶する
佐藤幸雄理事長



表彰式の様子



2017年度の実績と2018年度の活動方針を発表

第14回通常総会終了後、佐藤幸雄理事長、小林信夫副理事長、青木金也副理事長、中村昌徳副理事長、鈴木成幸専務理事が記者会見に臨みました。

2017年度の活動実績

会見の冒頭、4つのテーマを掲げて取り組んできた2017年度の活動実績について、鈴木専務理事から説明がありました。

・入口の課題「車両仕入を強化」

CtoBの車両仕入れの強化に取り組みました。廃車王ブランドを立ち上げてから5年が経過し、過去にはラジオ番組でのコマーシャルなどを行ってきました。2017年度は廃車王のさらなる認知向上を目指し、業界初となる全国テレビCMを4月より実施しました。

スポットCMを集中的に放映した5月には、本部コールセンターの電話回線がパンクするほどの反響があり、廃車王の引き取り実績は前年度比230%となりました。テレビCMの放映によって、ラジオやWebだけでは伝えきれなかった潜在需要を掘り起こすことができたと考えています。

また、従来は本部のコールセンターで受けた見積り案件を、廃車王の加盟店に取り次いでいましたが、一度電話を切ることに伴う機会損失を軽減するため、テレビCM放映に併せて本部で買い取り価格を即答できる体制を構築しました。これにより、35%程度だった成約率が51.5%にまで飛躍的に向上しました。

組合全体での仕入れ台数は約70万台で、前年度比107%となりました。台数は増加しましたが、部品の生産に関しては平均使用年数長期化の問題もあり、部品取りをしない車も増加しています。

・中間の品質「お客様満足度向上によるNGPのファン作り」

現在、第4弾を開催している「NGP宝くじキャンペーン」では、第1弾より継続してお客様からアンケートを集めてきました。その集計によると、既存のお客様からは満足度91%という評価をいただくことができました。



・出口の課題「リサイクル部品の販路拡大」

昨年総会後の記者会見では、ブロードリーフ社のパーツステーションとの連携を発表しました。その後5月からトライアルを実施し、7月の初旬からパーツステーションとの連携を開始しています。パーツステーションからの売り上げは順調に増加しています。

部品販売全体では売り上げが前年度比97%と非常に苦戦しています。先進予防安全技術装着率上昇などが大きく影響し、お客様からの受注そのものが減少していると考えられます。

・人材育成「自動車業界の変化に対応すべく、将来を見据えた人材育成計画」

NGPグループでは、創設時より教育に力を入れてきました。昨年度は1年間で32回の研修会を実施しており、受講した組合員の社員は684名に上ります。

次世代自動車へ対応していくため、スキャンツールセミナーの基礎及び応用編、次世代自動車セミナーなどを、今期も引き続き実施していきたいと考えています。

2018年度の活動方針

続いて、2018年度の活動方針が佐藤理事長より発表されました。

佐藤理事長は「先行きが不透明な事業環

境において、しっかりとした現状への対応と、中長期を踏まえた戦略を実行していかなければなりません」と述べ、昨年掲げた4つの重要方針は不変としながら、今期は特に「仕入れ車両の確保」と「販路拡大」を強化する方針を示しました。

仕入れ車両の確保では、BtoBだけではなく、CtoBからの仕入れを強化するため、引き続き廃車王を強化していきます。今期より新たに廃車王委員会を設置し活動するとともに、テレビCMも引き続き放映していきます。

販路拡大については、購入者に分かりやすい部品情報の提供を進めていきます。具体的には、NGP内部で長年ルール化してきた部品形状の表記方法を見直し、誰が見ても分かる表記へと変更していきます。

またお客様との関係性の強化も非常に重要だと考えています。「NGP宝くじキャンペーン」は、既存のお客様から非常に高評価をいただいています。今後は同キャンペーンを通じて、新規顧客の開拓にも力を入れていく方針です。

会見の席で佐藤理事長はさらに「今後は、グローバル戦略も必要となると考えています」と話し、海外展開を視野に入れた戦略を企画するプロジェクトを立ち上げ、活動していく意向を明らかにしています。

NGP組合員 かわら版

スキャンツールセミナーを開催

スキャンツールを用いた作業に 必要な知識を習得

10月23・24日の2日間、(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所東富士センター（静岡県裾野市）で「NGPスキャンツールセミナー（基礎編）」が開催されました。

初日はスキャンツールの歴史や、基礎についての座学を行いました。OBD-II規制によってスキャンツールが統一されたこと、DLC3カブラの登場により世界中で使えるようになったことや、排ガス規制に関わるDTCコードの説明、それに関わる触媒の話、ECUデータモニターの見方などを学び、なぜスキャンツールを使う必要があるのかについて理解しました。

2日目は受講者が持参したMST2000を用いて、実車による実技講習を行いました。30系プリウスを用いてハイブリッドバッテリーのデータモニターの見方、部品の損傷具合や劣化したものを検査するためのアクティブテストなどを学びました。

2日間の講習でスキャンツールの基礎を学んだ、(有)オートパーツ片岡の配島

達也さんは「積極的にスキャンツールを使い、部品取りなどの作業に役立てていきたいです」と、今後の業務で積極的に活用していく姿勢を示しています。(株)栃木パーツの牧田和彦さんは、「スキャンツールを活用し、生産できる部品を1点でも増やしたいです」と感想を述べたほか、「今後開催される応用編も参加したいです」と、さらなる技能習得へ向けた意欲を見せています。(株)茨城オートパーツセンターの嶋原賢也さんは「スキャンツールを有効に使えば動作確認の時間短縮となり、結果的に部品生産にもつながります」と、業務でスキャンツールを活用する効果を実感していました。



自動車リサイクル部品の認知度向上へ向けて

NGP 協同組合、「エコプロ2018」へ出展

NGP協同組合は12月6～8日までの3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される、“環境”をテーマにした日本最大級の展示会「エコプロ2018」に出展します。

リサイクル部品の生産の仕組みを学ぶ

ことができる「バーチャルリアリティ体験」などを通じて、幅広い来場者に自動車リサイクル部品をアピールします。

出展小間番号は4-014です。ぜひ、NGPブースへお立ち寄り下さい。



前回会場の様子

「NGP 年末ジャンボ キャンペーン2018」 開催中!!

11月30日（当日消印有効）までご応募いただけます。
皆様のご応募をお待ちしております。



NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成30年9月： **2,501t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成30年9月： **2.5t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含むと115品目）を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

平成最後の東京モーターフェス開催

日本自動車工業会（自工会）は10月6～8日に、東京臨海副都心の特設会場、センタープロムナード及びMEGA WEBで「東京モーターフェス2018」を開催しました。

東京モーターフェスは東京モーターショーが開催されない年に行われるイベントで、来年開催予定の東京モーターショー2019の盛り上げにつなげる役割も担っています。

今回で4回目を迎える同イベントですが、前回の2016年と比べ、参加メーカーは15社から26社、出品車両台数は160台から267台、プログラム数も18から39、会場面積は2倍以上と過去最大規模となりました。

平成最後の開催となる今回は、「胸に、ぎゅんとくる。」をテーマにこの時代を彩った名車やブームを振り返りつつ、大人から子どもまで、車やバイクの魅力を体感できるイベントとして行われました。

初日に行われた自工会の豊田章男会長（トヨタ自動車社長）とタレントのマツコ・デラックス氏によるスペシャルトークショーでは、「車の維持費が高すぎる」という

質問に対して、豊田会長は消費増税によって販売台数が大幅に減少してきた過去とその影響を受けてきた自動車関連の中小企業の状態を踏まえて、「みなさんの大きな声で国に伝え、理解してもらいましょう」と世界的にみても高い自動車関係税の見直しを強く訴えています。

その後、サプライズゲストとして10月4日にトヨタとの提携を発表したソフトバンクグループの孫正義会長兼社長が登場しました。今回の提携に関し、「日本発信で未来をブイブイ言わせる予感がします」と発言し、会場を沸かせました。

お台場第一特設会場では「バック to



トークをする豊田章男会長（写真左）、孫正義会長兼社長（写真中）、マツコ・デラックス氏

the バブル！」と題し、ボディコン姿のコスプレイヤー達とともに、日本が好景気に沸いた80～90年代に発売された車両が多数展示されました。「動くクルマ図鑑ステージ」ではラジオパーソナリティ・DJのピストン西沢氏による試乗や解説などが行われたほか、「平成KINGS feat.前田亘輝（TUBE）」と題しTUBEの前田亘輝氏を招いたトークショーなども行われました。また、2日目は豊田章男社長がWRC（世界ラリー選手権）に参加しているトヨタGAZOO RacingのヤリスWRCに乗ってステージに登場し、場内を盛り上げています。



バブル時代を盛り上げた多くの車種が展示され、車ファンを喜ばせた

プレゼントクイズ

Q. これは、
どの車種の一部？



■NGPニュースNo.330(2018年9月号)
プレゼントクイズの正解はスバルのインプレッサでした。北海道・愛知県・山口県在住の方3名様に1万円相当のクオカードをお送りします。今後も奮ってご応募ください。

クイズに正解した方の中から、抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント！

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。
ご応募の締め切りは12月25日到着分までとさせていただきます。
正解はNGPニュース2019年1月号にて発表いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「プレゼントクイズ」係 応募用FAX番号 03-5475-1209

解答	お名前	職業	電話番号	年齢	性別
				歳	男・女
住所：〒					
NGPニュースで取り上げてほしいテーマ：					

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

訃報

30年10月14日、有限会社西山自動車商会（神奈川県平塚市）
代表取締役 西山 清（にしやま きよし）様のご逝去されました（72歳）。
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/